

職員による自己評価

A環境面

- ・スペースの広さは今は問題ないが子どもの成長を考えると将来的に狭くなる可能性もある
- ・段差があり躓く可能性あり
- ・職員へ研修の実施はしているが、開所間もないため、資質向上につながるまではもう少し時間がかかる

B児童への支援内容

- ・送迎時間の関係で振り返りができない日もあるが、翌日行っている
- ・レクリエーションの記録は取れているが、その他の記録はまだまだ薄いところがある

C関係機関との連携

- ・施設外の施設や児童との交流は、放課後キッズや公園で遊べているが全員ではない

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・よく連絡を取って情報交換などは行えているが、ペアトレーニングにしっかりと繋がっているかは不明
- ・管理者、児童発達支援管理責任者が中心となり行っている連絡帳やホームページを使用して活動について情報発信を行っている
- ・個人情報に対して配慮が甘い部分が見られる
- ・身体拘束の説明は行っているが、今のところ対象者はいない

保護者による評価

A環境面

- ・受け入れ人数によってはスペースが狭く感じる事もあるのかもしれませんが、子供からは狭いと言うことは聞かれません。
- ・子供が先生を信頼して通っていると思います

B児童への支援内容

- ・短い時間ではあるが普段家ではできないような製作やおやつ作りなどプログラムの内容が増えてくれるといいなと思っています。
  - ・季節の行事なども1日だけでなくみんなが分散して参加できるように数日やって欲しい。
- プログラミングは本人も楽しいようで今後も続けて欲しい。

C事業所からの情報発信

- ・できればその日の様子がわかる写真を増やしてほしい話だけ聞いてその様子の写真がないと残念。

D非常対応

- ・プログラムの1つとして避難訓練を毎月して欲しい

事業所内での分析

【共通点】

- ・部屋が適度に分けられているので事業所内のスペースに不安がある。
- ・指導員と児童との信頼関係がしっかりしている

【相違点】

- ・避難訓練などの緊急時対策を強化してほしい（保護者より）
- ・活動の情報等の発信は十分に行えていると従業員は考えていたが、保護者からはもう少し増やしてほしいという声があった。

